

北海道大学大学院経済学院
会計情報専攻（専門職大学院）第2次 入学試験

平成30年度 専門科目（選択科目）試験問題

試験期日：平成30年1月30日

試験時間：10時50分～12時20分

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は、

会計学	2 ページ
経済学	3 ページ

である。
3. 問題冊子の中から出願時に選択した科目について解答しなさい。
4. 受験番号、氏名、選択科目名は、監督員の指示にしたがって解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 解答用紙に解答する際に、問題番号・記号があれば解答の前に必ず記入しなさい。
6. 解答用紙が不足した場合には挙手して監督員に連絡しなさい。
7. 試験場退出は試験開始30分が経過するまで認めない。

会計学

問題Ⅰ，問題Ⅱの両方に解答しなさい。

問題Ⅰ．以下の1，2の両方に解答しなさい。

1. ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引について，その分類と会計処理を説明しなさい。
2. 売上総利益，営業利益，経常利益，当期純利益について違いと会計情報としての有用性を説明しなさい。

問題Ⅱ．1，2の中から1問を選んで解答しなさい。解答に際しては問題の番号を示しなさい。

1. 次の(1)から(3)の3つの原価概念を説明しなさい。

- (1) 関連原価
- (2) 埋没原価
- (3) 機会原価

2. 公認会計士が以下の財務諸表や報告書に対して保証を行う場合に，それぞれについてその保証の特徴を述べなさい。

- (1) 四半期財務諸表
- (2) CSR（企業の社会的責任）報告書

経済学

問題 I , 問題 II の両方に解答しなさい.

問題 I . 以下の IS-LM モデルを考える.

$$\text{生産物市場} \quad Y = C + I + G$$

$$\text{貨幣市場} \quad \frac{M}{P} = L(r, Y)$$

ここで, 上記の式は各市場の需給均衡式を示す. Y は国民所得, C は家計の消費, I は企業の投資, G は政府支出, M は名目マネーサプライ, P は物価水準, L は貨幣需要, r は利子率を示す. 以下のすべての問いに答えなさい.

1. 金融政策として実質マネーサプライ M/P を増加させると国民所得が増加するケースを考える. このとき, なぜ国民所得が増加するのかを図と数式を用いて説明しなさい.
2. 問い 1 と同じ金融政策を行うと国民所得が増加しないケースを考える. このとき, なぜ国民所得が増加しないのかを図と数式を用いて説明しなさい.

問題 II . ある財の市場が完全競争市場であり, その逆需要関数は $p = a - bq$, $a > 0$, $b > 0$ であり, 逆供給関数は $p = c + dq$, $c > 0$, $d > 0$, $a > c$ であるとす. 以下のすべての問いに答えなさい.

1. 完全競争市場の均衡価格 p_E , 均衡産出量 q_E の式を求めなさい.
2. 完全競争市場の均衡の下での消費者余剰, 生産者余剰, そして総余剰の式を求めなさい.
3. 政府が財 1 単位当たり $t > a - c$ の消費税を消費者に課したとする. その場合の完全競争市場の均衡価格, 均衡産出量, そして税収の式を求めなさい.